

課題3: チーム医療に関する情報開示と患者にとっての適正な医療を

【課題】

- チーム医療の重要性に対する認識が低い。
- チーム医療を組織するための専門性、役割分担が法制度として不明確である。
- 各職種との協働領域を検討する機会や標準化された情報の共有がない。



【課題の解決策】

1. 法律内容を社会状況に即し、理解できるようにする。
2. それぞれの施設・領域・疾患等に応じたチーム医療のあり方を評価する。
3. 診療情報の標準化を図り、チーム医療を促進する。

まとめ(今後の検討)

- 「チーム医療」を提供することができるよう、過剰労働を見直す必要がある。
- 「チーム医療」に資する卒前および卒後教育水準に引き上げる。
- それぞれの施設・領域・疾患等に応じた「チーム医療」のあり方を評価する。

チーム医療推進の必要条件

◎ チーム医療確立のための運用上の必要条件

1. 院内の体制整備
2. チームリーダーの必要性(責任の所在)
3. チームリーダーが医師以外の場合の医師の協力
4. チームとしての情報共有化の確立
5. チームメンバーの意識改革と知識・技術の高揚
6. チーム医療に関するコスト設定
7. 法的整備(関連法規における連携条項の必須化)

◎ 診療報酬上のチーム医療の必要条件

1. 多職種が協働した治療計画 ⇒ 治療方針の共有
2. 効果等について協働での評価 ⇒ 治療経過・結果の共有
3. 協働した診療情報の管理 ⇒ 実施(証拠)記録の保存と結果評価
4. 患者への説明 ⇒ 患者の理解と同意

代表的なチーム医療の構成職種(例)

業務分野・診療分野	構成職種
病棟業務	医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、診療放射線技師、臨床検査技師、細胞検査士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、臨床工学技士、診療情報管理士、看護補助者、医療ソーシャルワーカー、等
救急医療	医師、看護師、薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師、細胞検査士、臨床工学技士、理学療法士、作業療法士、医療ソーシャルワーカー、診療情報管理士、等
医療安全管理	医療安全管理者、医師、看護師、理学療法士、作業療法士、薬剤師、管理栄養士、診療放射線技師、臨床検査技師、細胞検査士、臨床工学技士、診療情報管理士、等
医療機器安全管理	医療機器安全管理責任者、医師、看護師、臨床工学技士、診療放射線技師、臨床検査技師、等
感染症対策	医師、看護師、薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師、細胞検査士、等
栄養管理	医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、診療情報管理士、等
摂食嚥下	医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、歯科衛生士、等
呼吸ケア	医師、看護師、理学療法士、作業療法士、臨床工学技士、歯科衛生士、医療ソーシャルワーカー、臨床検査技師、等
褥瘡管理	医師、看護師、理学療法士、作業療法士、薬剤師、管理栄養士、等
皮膚排泄ケア	医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、等
リハビリテーション	医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、義肢装具士、医療ソーシャルワーカー、臨床心理士、あん摩マッサージ指圧師、柔道整復士、医療リンパドレナージセラピスト、等
緩和ケア	医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、細胞検査士、管理栄養士、作業療法士、医療ソーシャルワーカー、診療情報管理士、医療リンパドレナージセラピスト、臨床心理士、等
糖尿病療養	医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、作業療法士、診療情報管理士、等

※ 12月3日現在で、本協議会に参加している団体・職種で例示し、その他は「等」と表記した。

※ 施設・病院により、職種の構成は異なります。

医療ソーシャルワーカー（社会福祉士）の業務



急性期病院

救命救急センター

脳卒中センター

周産期 小児 精神科

がん治療 小児虐待

外来部門 心臓血管治療

総合相談部門 透析

退院支援・地域連携部門

その他さまざまな...



緩和ケアチーム・病棟

回復期リハ病棟

医療療養・障害者病棟

■さまざまな治療場面で
心理・社会的問題を抱える
患者・家族や退院困難ケース等を担
当し、相談援助を提供しています

身元不明・キーパーソン不在／疎遠／高齢
医療費支払い困難 外国人 自殺企図患者
治療拒否 虐待 多問題家族
医療スタッフと信頼関係が構築できない
退院後の生活が不安
入院中の生活が不安
退院計画・退院（転院）援助
社会保障制度活用
在宅緩和ケア（看取り） 在宅医療
入院相談機能
苦情
その他

チームアプローチでSWが 果たす役割と効果とは



SWの果たす役割

■ 心理・社会的問題の解決調整

■ 通訳的役割

患者家族とスタッフの間の理解促進、
コミュニケーション促進

■ 権利擁護者役割

患者・家族の基本的な人権を尊重する

■ 仲介者役割

患者・家族の心理社会的状況の理解と
スタッフへの伝達

■ 地域連携（ネットワーキング機能）

患者・家族を取り巻く地域の関係機関を
つなぐ役割

SWの関わる効果

■ 治療と平行した 生活問題の解決・軽減

■ 心理・社会的問題の 予防的支援

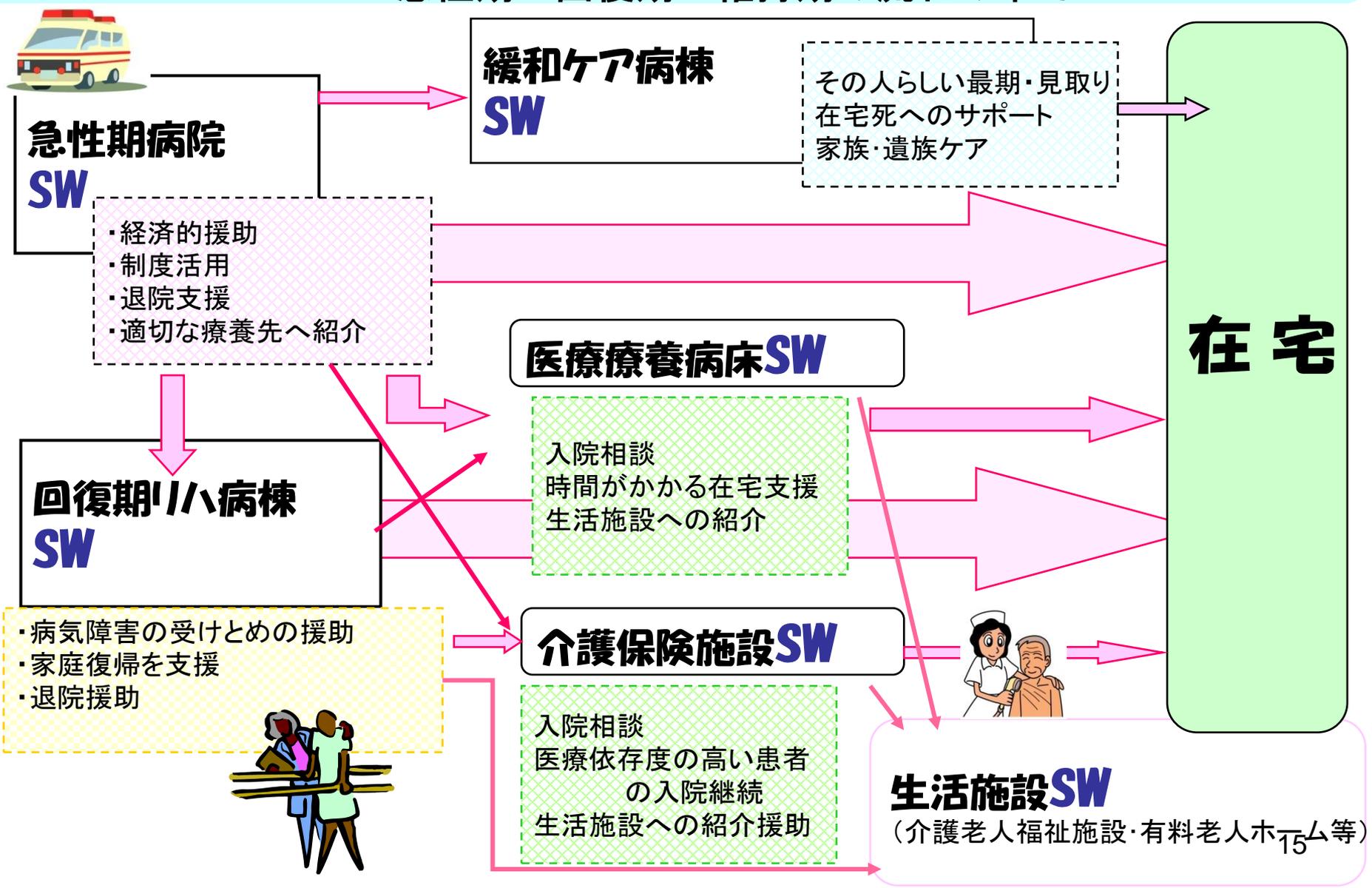
■ 患者・家族の精神的支援

■ 患者・家族中心の医療に 近づく

■ 保健・医療・福祉の連携 促進

SWは他病院・施設のSWと連携し、患者の支援を継続します

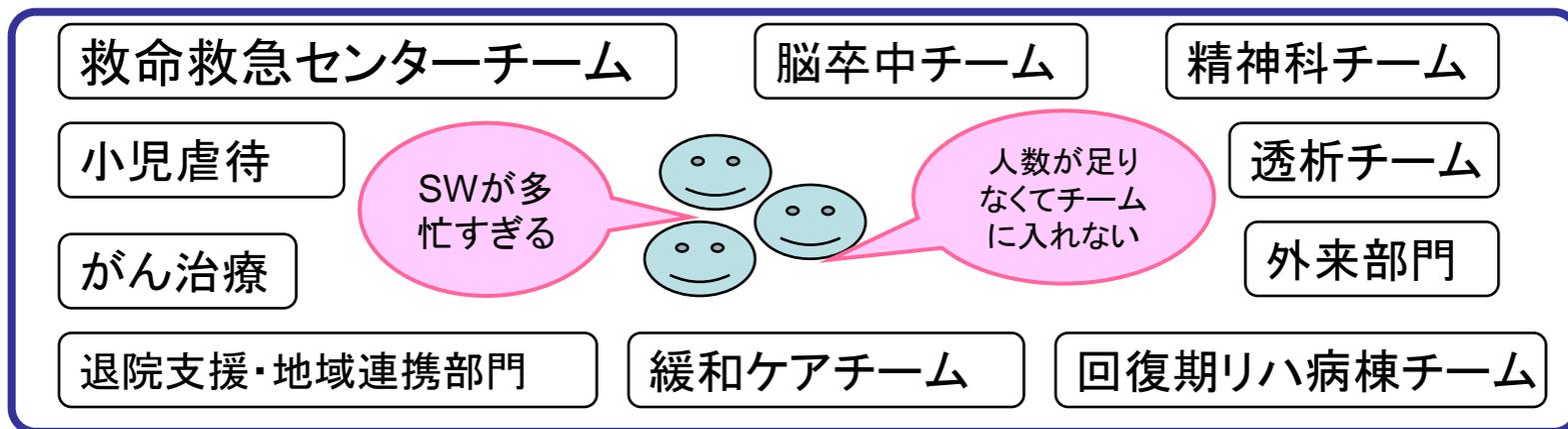
急性期～回復期～維持期の流れの中で



チームアプローチのための ソーシャルワーカーの課題

■適切なSW人員数が必要

病院には多くのチームが存在する。ソーシャルワーカーがチームを掛け持ちしすぎない程度的人员が必要



■SWの役割の啓発が必要(チームメンバーの理解)

現状では、転院援助や地域連携だけに期待される傾向

■SW援助のクリニカルインジケータの確立が必要